



一般質問

《2月会議》

日本共産党 川口清之 議員

【問】県の「子どもの生活実態調査」では、親の貧困が、子どもの健康と生活、学力の格差に影響があるとしているが市長の考えは。

【答】収入が低い層では、朝食習慣不足や医療機関の未受診、家庭学習不足が多く、子どもが生まれる育った環境に左右されることのないよう、相談を通じた支援を進めます。

【問】子ども食堂の本市の取り組みは。

【答】市では実施していま

Q 子どもの貧困問題と子育て支援に対する市長の考え方は

A 育った環境に左右されない支援を進めます

せんが、NPO法人等がボランティアの協力のもと滝沢ふるさと交流館にて毎月一回実施しています。

【問】教員の变形労働時間制度の導入により本間に残業が減るのか。

【答】变形労働制の導入のみならず、業務の適正化を着実に図っていくことが必要と考えます。

【問】クマ被害防止の有効策としての電気柵柵の補助金の基準は。

【答】補助対象者は、本市の農業者及び漁業者が所

新志会 山谷仁 議員

【問】総合計画前期基本計画の各施策の評価と達成状況が芳しくない、また目標に至らなかったその理由は。

【答】施策に設定している目標によるところも、大きく要因です。また、一つひとつの施策を見ますと、財源の確保等の課題により、事業が思い通りに進んでいない施策もあるなど、施策ごとにさまざまな要因があると考えています。

【問】若い世代を中心とした

Q 総計前期計画の評価と達成状況は

A 市民ニーズの把握に努め各施策の改善を進めます

たローカル志向の傾向は、職員が各地に配置され、大いに期待されていたが、その後の動向と今後の任務は。

【答】滝沢市基本条例に基づく地域づくり活動を支援するため地域づくり懇談会（こ）に総括主査をリーダーとし、3人の地域づくり支援職員を配置しています。

【問】26年度に地域づくり

【答】26年度に地域づくり

会派に属さない議員 奥津一俊 議員

【問】防災ハザードマップ作成に不可欠な地域特性の危険情報や避難情報等の提供方法は。

【答】「防災ハザードマップ」は、住民が地域の実情を確認し、危険箇所や防災情報を共有することにも、災害時の適切対応につなげる重要なツールです。

【問】防災ハザードマップの活用を促すため、住民に対する意識啓発活動や図上訓練等の教育指導方法は。

【答】本市は、各自主防災会主催の研修や出前講座を通じて意識啓発を図っています。

【問】防災ハザードマップの作成状況

Q 「防災ハザードマップ」作成のための情報提供は

A 「防災リーダー養成講座」で対応します

成講座を開設、被災見舞避難行動、救助活動および避難経路等をマップに図上訓練を実施してお記載する実習などにより、各種の情報提供を行っています。

【問】防災ハザードマップの活用を促すため、住民に対する意識啓発活動や図上訓練等の教育指導方法は。

【答】本市は、各自主防災会主催の研修や出前講座を通じて意識啓発を図っています。

【問】防災ハザードマップの活用を促すため、住民に対する意識啓発活動や図上訓練等の教育指導方法は。

【答】本市は、各自主防災会主催の研修や出前講座を通じて意識啓発を図っています。

新志会 柳橋好子 議員

【問】相次ぐ学級閉鎖に対し、小中学生にインフルエンザ予防接種への助成をすることを考えは。

【答】本市は、就学前の幼児と65歳以上の高齢者に助成しています。小中学生への助成については今後、対象年齢や公費負担額を検討します。

【問】保育園等の待機児童数の把握と保育士確保のための宿舎借上げ事業の成果は。

【答】待機児童は31年4月現在で35人です。

Q インフルエンザ等の予防接種への助成は

A 対象年齢や公費負担額について検討していきます

保育士宿舎借上げ事業の実施で制度利用は現在2人ですが、新年度はそれを上回る利用予定者となつていきます。待機児童解消にもつながる保育士の確保策として、継続的に実施します。

【問】児童生徒が通学に使用している小岩井駅、大釜駅に事故防止のための防護トラス設置は。

【答】JR東日本によると、駅舎にホームドア設置は一日当たりの乗降者数が10万人以上の駅

会派に属さない議員 佐藤澄子 議員

【問】キャリア教育「アウトオブ・キッズニア・イン滝沢」のアンケート結果は。

【答】キャリア教育「アウトオブ・キッズニア・イン滝沢」のアンケート結果は、

【問】キャリア教育「アウトオブ・キッズニア・イン滝沢」のアンケート結果は

【答】キャリア教育「アウトオブ・キッズニア・イン滝沢」のアンケート結果は、

Q キャリア教育「アウトオブ・キッズニア・イン滝沢」のアンケート結果は

A 喜びの声が多く寄せられました

の成長に役立てたい」と真剣に取り組む、自身の仕事への誇りも感じていることが大きな成果です。

【問】全体的な成果は。

【答】ビッグルーフ滝沢の設置目的である「交流」「市民活動支援」に寄与する取り組みとして、指定管理者が主体的に行いました。

【問】指定管理者のネットワークや企画力によって開催され、ビッグルーフの強みを充分に活用した事業であり、市内の小学



キャリア教育「アウトオブ・キッズニア・イン滝沢」のアンケート結果

滝沢市民クラブ 日向裕子 議員

【問】アウトオブ・キッズニア・イン滝沢を通じた郷土愛の醸成は。

【答】次世代の担い手の育成を地域全体で広げるために実施し、子どもたちが社会の仕組みを知り、きっかけや地域の仕事に興味や愛着を持つきっかけになりました。

【問】キッズニア滝沢を若者定住に活かすような展開を考えているか。

【答】若者定住も念頭に置いて、子どもたちには選ばれる自治体になることが

Q キッズニア滝沢を通じた郷土愛の醸成は

A 本市に興味や愛着を持つきっかけづくりに大いに効果がありました

大切と考え、ビッグルーフ滝沢で開催しました。

【問】環境基本計画の重点施策のうち、目標値に達成見込みのものは。

【答】基本計画は、二酸化炭素排出量の削減並びに省エネルギーの推進及び再生可能エネルギーの活用を重点施策として、います。庁舎を対象とした「たきざわエコオフィス計画」は、25年度対30年度比17.2%二酸化炭素排出削減実績です。

【問】目標値の達成が難しい施策とその要因は。

【答】削減の目標値は相当の努力が必要で、本市のみならず、国、他の地方公共団体、事業者、市民すべての主体が総力を挙げて取り組むことが不可欠であり、更なる意識啓発が重要で、います。今後の重点施策の展開は、

滝政会 稲荷場裕 議員

【問】総合計画後期基本計画での財政見通しは、今後3年間で歳入におよび今後の展開は。

【答】平成25年度から令和4年度まで、「第2次環境計画」及び「地球温暖化対策実行計画」により推進しています。

【問】二酸化炭素の削減に向けた取り組みの内容および今後の展開は。

【答】平成25年度から令和4年度まで、「第2次環境計画」及び「地球温暖化対策実行計画」により推進しています。

Q 歳入確保に向けた「道の駅」設置の考えは

A 要望があれば、関係団体と相談しながら調査研究します

を設置する考えは、周辺の学園都市構想の考えは。

【答】現在のところ、「道の駅」を設置する予定はありませんが、設置の要望等がある場合は、関係団体と相談しながら、調査研究していきます。

【問】若者の本市への定住等をに向けた若手県立大学

【答】若者の本市への定住等をに向けた若手県立大学

会派に属さない議員 菅野福雄 議員

【問】ふるさと納税プロジェクトチームを立ち上げる考えは。

【答】ふるさと納税や国、県補助金や有利な起債の特定財源の活用に取り組みます。

【問】職員体制を強化し、関係部署等と連携し、環境の向上を図り、財源確保に努めます。

【問】歳入拡大検討会議の内容とメンバーは。

【答】三役と部長級職員を構成員として歳入拡大の検討を行い、職員から募ったアイデアを取り入れ

Q 「ふるさと納税プロジェクトチーム」を立ち上げる考えは

A 有効ですが、まずは職員体制を強化します

ふるさと納税や国、県補助金や有利な起債の特定財源の活用に取り組みます。

【問】職員体制を強化し、関係部署等と連携し、環境の向上を図り、財源確保に努めます。

【問】歳入拡大検討会議の内容とメンバーは。

【答】三役と部長級職員を構成員として歳入拡大の検討を行い、職員から募ったアイデアを取り入れ

滝政会 井上仁 議員

【問】5Gの市内への基地局設置の見込み時期の把握は。

【答】具体的な計画が大手通信業者から発表されていませんが、若手県立大学等の高等教育機関など5Gの特徴を活かせる施設などが先行設置されるものと想定しています。

【問】5Gの早期整備により、関係機関の展開にビジネスチャンスが発生すると思われるが、市の役割は。

【答】技術革新が生まれる

Q 5Gの早期展開に向けた市の役割は

A 関係機関と連携しながら要望を行います

環境を整えることは優先課題であり、PUインベションセンターなどへの早期5G基地局設置は、関係機関と連携し、要望を行います。

【問】特産品の販売額が近年減少傾向にあるが市としての対応策は。

【答】農業従事者の高齢化による農業人口の減少が大きく影響しており、担い手の支援や新規就農支援を行います。

【問】消費増税に合わせた高品質な農産品の情報

公明党 小田島清美 議員

【問】二酸化炭素の削減に向けた取り組みの内容および今後の展開は。

【答】平成25年度から令和4年度まで、「第2次環境計画」及び「地球温暖化対策実行計画」により推進しています。

【問】二酸化炭素の削減に向けた取り組みの内容および今後の展開は。

【答】平成25年度から令和4年度まで、「第2次環境計画」及び「地球温暖化対策実行計画」により推進しています。

Q 二酸化炭素の削減に向けた今後の展開は

A 更なる抑制への意識啓発が重要です

の使用量および廃棄物の排出量すべての項目が減少しています。地域全体で6%の削減は相当の努力が必要であり、更なる抑制への意識啓発が重要です。

【問】幼児教育・保育の無償化に伴う保育の質の向上は。

【答】保育士への助言・指導を行う「障がい児保育巡回事業」や保育士の就業支援である「保育士宿舎借上げ事業」を継続して実施し、保育の質の

QRコードの掲載について

カメラ付きの携帯通信端末等で各議員の QR コードを読み取ると、質問の様子(録画映像)をご覧いただけます。また、本会議開催中は生中継も行っております。中継及び録画映像は市議会のホームページからご覧いただけます。(市議会のホームページアドレス及び QR コードは4ページに掲載しております。)

傍聴されるみなさまへ

現在、拡大が懸念されております新型コロナウイルス感染症の予防対策として、入口での消毒の協力をお願いします。なお、マスク着用でお越しくださいますようお願いいたします。

